

FalconWAVE AP-R

かんたんセットアップマニュアル

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは本製品をセットアップするための方法を説明しています。
使用前にこのマニュアルをお読みになり、正しくお使いください。このマニュアルは大切に保管してください。

STEP1 **同梱物の確認**

STEP2 **各部の名称と機能**

STEP3 **PCの設定**

STEP4 **設置手順**

STEP5 **ログイン手順 パラメータ設定手順**

STEP6 **通信テスト Ping RSSI**

STEP7 **トラブルシュート マニュアル**

品名	外観	備考
FalconWAVE AP-R		IPアドレス:192.168.1.101(指定なしの場合) ネットマスク:255.255.255.0(指定なしの場合) ユーザ名:admin パスワード:superuser
FalconWAVE AP-R専用 PoE電源インジェクター		入力:100-240VAC 出力: 48VDC 最大0.35A ACアダプタを使用の場合は添付されません 別途ACアダプタが添付されます
PoE電源インジェクター 電源ケーブル		3線式 1.8m ACアダプタを使用の場合は添付されません 別途ACアダプタが添付されます
FalconWAVE AP-R専用 ダイポールアンテナ		2.4GHz/5GHz帯共用 2本 別途アンテナを使用の際は添付されません

※収容ボックス内に取り付ける場合等、同梱物が異なる場合もございます。

STEP2 各部の名称と機能

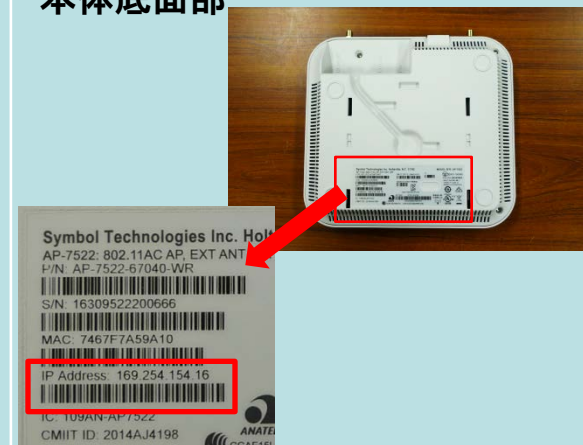
アンテナポート/Ethernetポート



状態表示LED



本体底面部



- ①R1/R2-A:アンテナを接続します。
- ②R1/R2-B:アンテナを接続します。
※アンテナを1台のみ接続する場合は、
使用しません。
- ③GE1/PoE:PoE電源インジェクターからの
LANケーブルを接続します。
- ④CONSOLE:外部CONSOLEからの
LANケーブルを接続します。
- ⑤Pwr:DC12V電源ケーブルを接続します。
(PoE電源インジェクターを使用しない場合)

- ⑥LED(橙):5GHz帯の稼働状態を表示します。
点灯:無線設定未構成/
ファームウェアアップデート中
5秒間隔で点滅:稼働中(スタンバイ状態)
1秒間隔で点滅:稼働中(通信状態)
消灯:停波中
 - ⑦LED(緑):2.4GHz帯の稼働状態を表示します。
点灯:無線設定未構成
5秒間隔で点滅:稼働中(スタンバイ状態)
1秒間隔で点滅:稼働中(通信状態)
消灯:停波中/ファームウェアアップデート中
- 不規則間隔で点滅(緑/赤/橙)しているときは、
APモード検索中

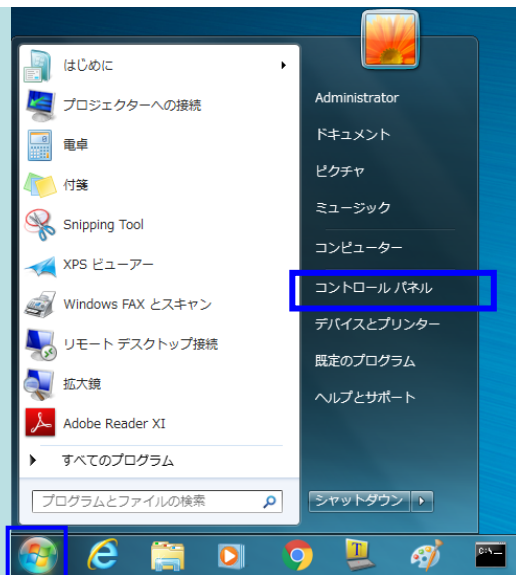
FalconWAVE AP-Rは、ネットワーク用IPアドレス(例:192.168.1.101)とは別に機器MACアドレス依存の固定IPアドレスが割り当てられています。
(写真例:169.254.154.16)

PCのブラウザからパラメーター設定を変更したい場合などに使用します。
また、万が一ネットワーク用IPアドレスが分からなくなった時も、固定IPアドレスから確認することもできます。

詳細は「STEP6 パラメーター設定手順」を参照してください。

STEP3 PCの設定(Windows7 1/6)

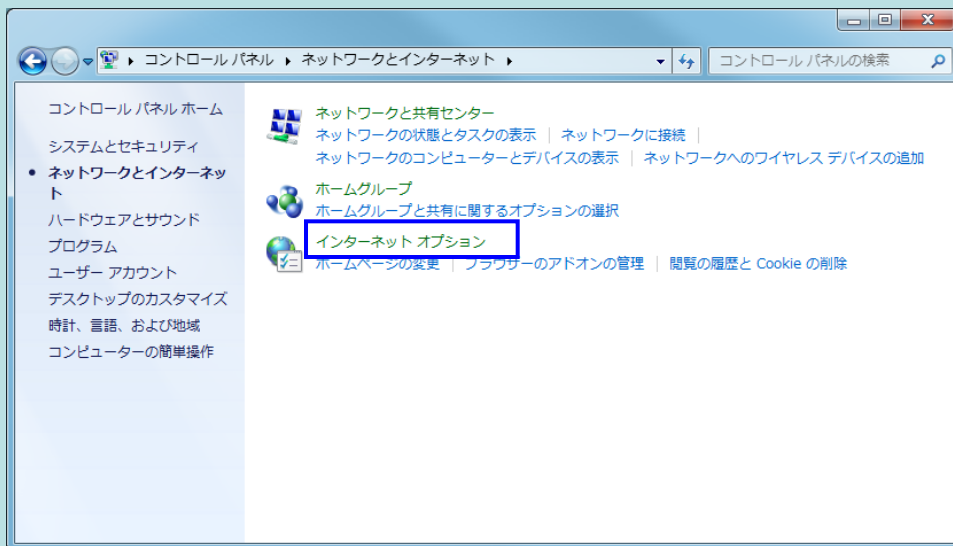
「FalconWAVE AP-R」と接続するPCは、IPアドレスとサブネットマスクが「FalconWAVE AP-R」と同じアドレスグループに設定されている必要があります。ここではWindows7についての設定手順をご説明します。(すでに設定済みの場合は「STEP:4 設置手順」へ)



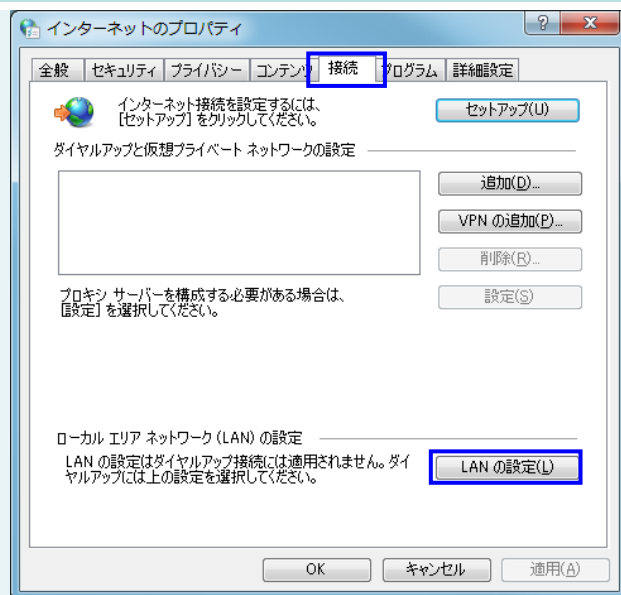
①コントロールパネルを開きます。
「スタート」ボタンをクリックし、右側の欄から
「コントロールパネル」をクリックしてください。



②コントロールパネルにて、
「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。
次のページに進んでください。



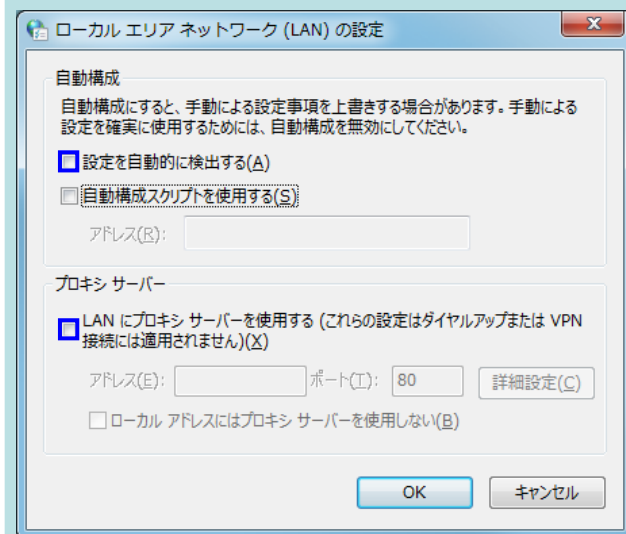
③インターネットのプロパティを開きます。
「インターネットオプション」をクリックしてください。



④「インターネットのプロパティ」のウィンドウが開かれるので
「接続」タブを選択し、「LANの設定」をクリックしてください。

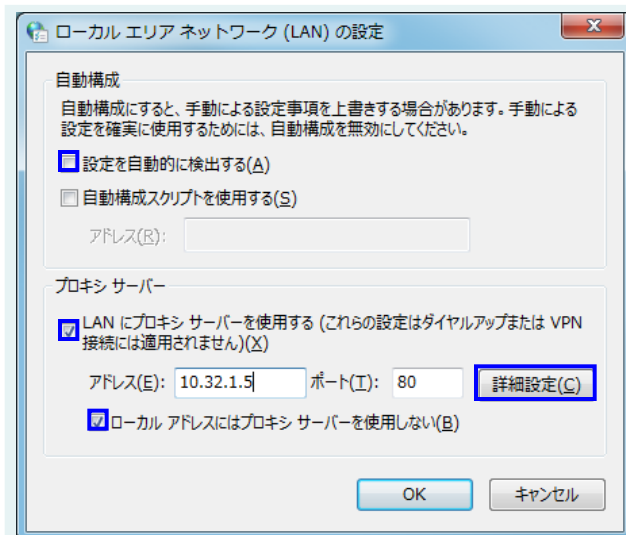
次のページに進んでください。

⑤「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」が開かれます。
プロキシサーバーの設定が必要ない場合(PCを測定専用を使用するなど)は⑥-1へ、
プロキシ設定を無効にすることができない場合(PCが既設のシステムに組み込まれているなど)は⑥-2へ進んでください。



⑥-1 「設定を自動的に検出する」のチェックを外してください。
「LANにプロキシサーバーを使用する…」のチェックを外してください。
完了したら「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「インターネットのプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

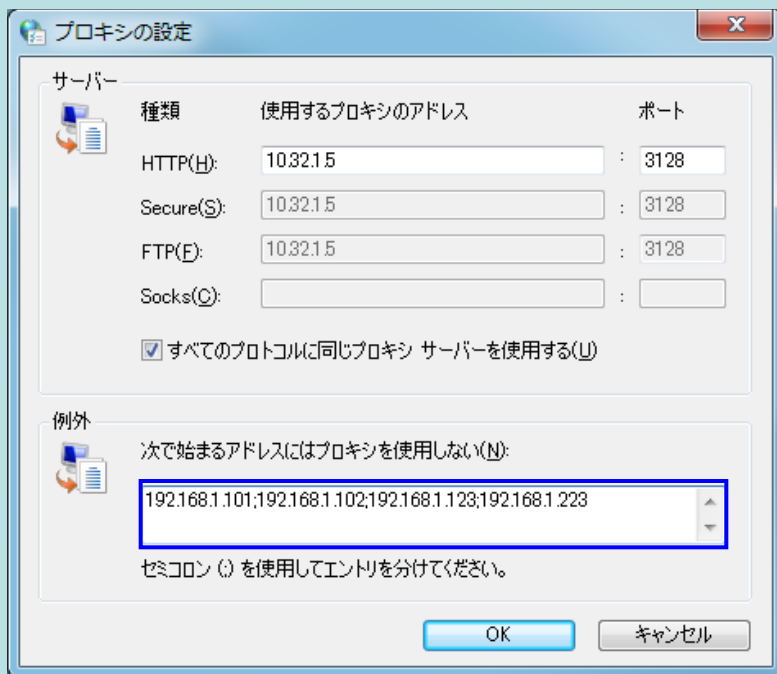
次のページの[⑧]に進んでください。



⑥-2 「設定を自動的に検出する」のチェックを外してください。
「LANにプロキシサーバーを使用する…」にチェックをしてください。
「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」にチェックをしてください。
「詳細設定」をクリックして次ページの[⑦]に進んでください。

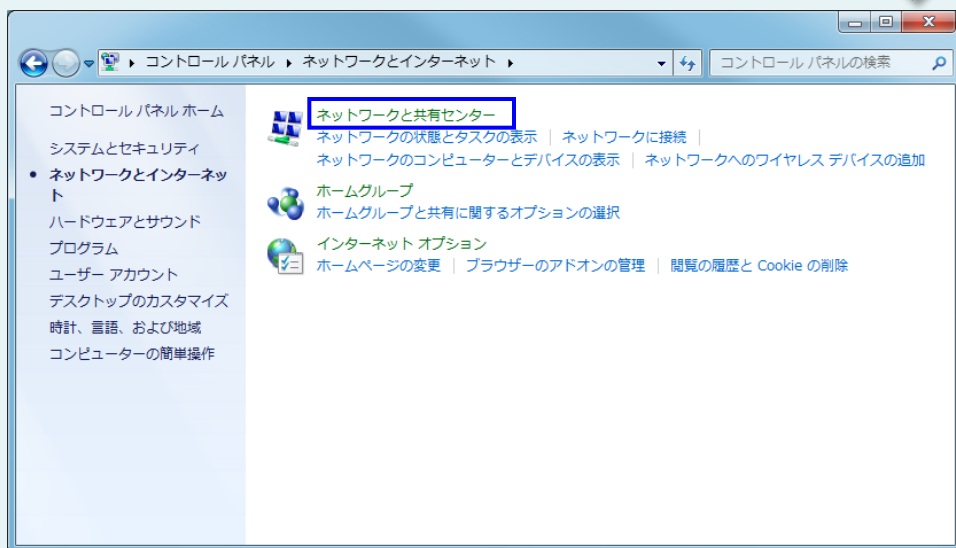
※左画像のアドレスとポートの値は仮のものです。
設定する値ではありません。

STEP3 PCの設定(Windows7 4/6)



⑦「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」欄にこのPCから接続する機器(「FalconWAVE AP-R」や対向側PC、ネットワークカメラ、ネットワークレコーダ等)のIPアドレスを登録してください。
その際、アドレスとアドレスの間を「;(セミコロン)」で区切ってください。
(例:192.168.1.101;192.168.1.102;192.168.1.123;192.168.1.223)

完了したら「OK」をクリックしウィンドウを閉じてください。
「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「インターネットのプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



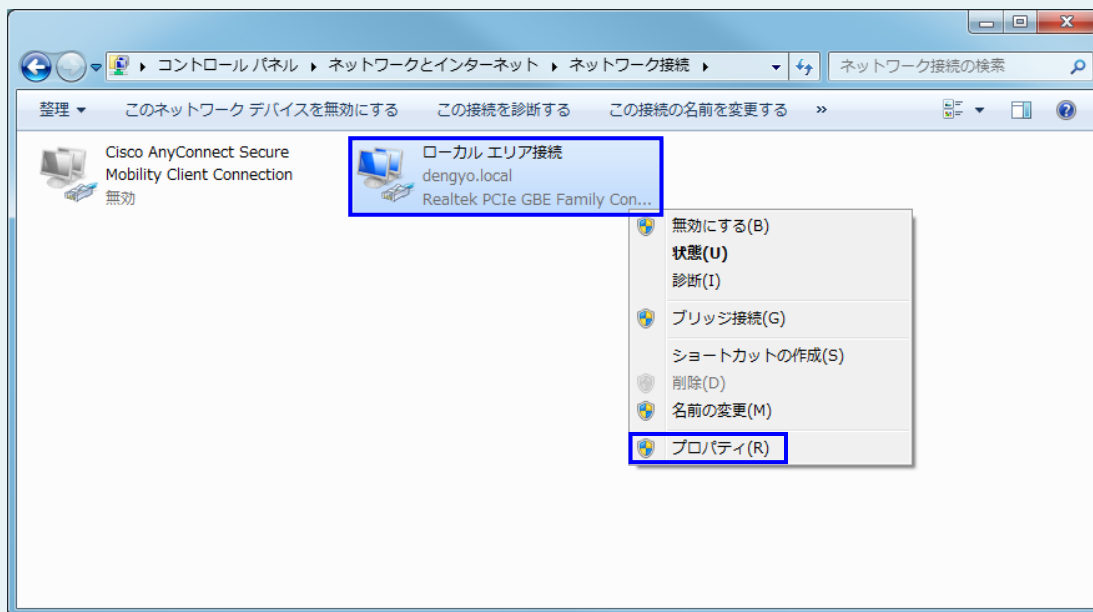
⑧ ①、②を参照して再びコントロールパネルからネットワークとインターネットを選択して、「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。

次のページに進んでください。

STEP3 PCの設定(Windows7 5/6)

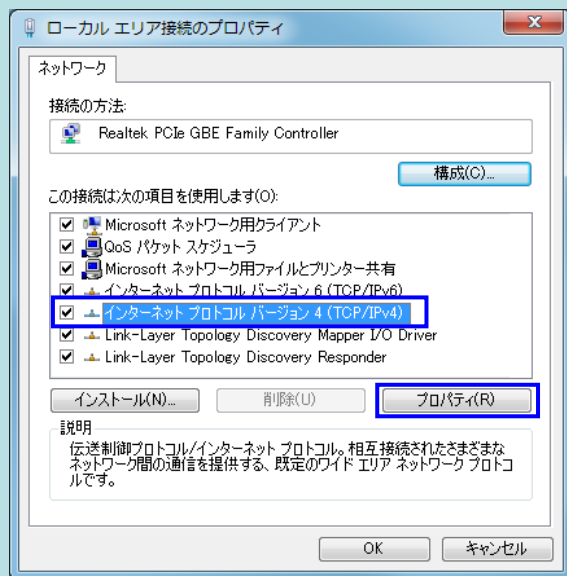


⑨「アダプターの設定の変更」をクリックしてください。

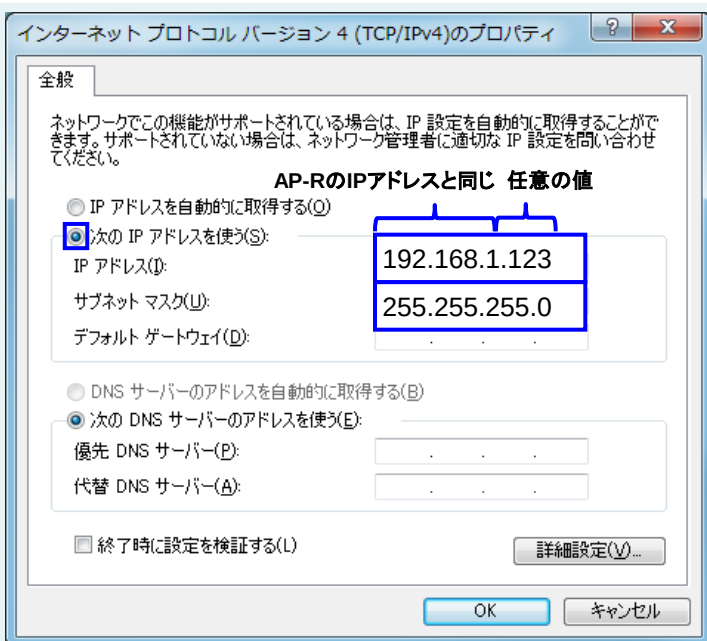


⑩「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。「ローカルエリア接続」を右クリックし、表れたメニューから「プロパティ」を選択してください。

次のページに進んでください。



⑪「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



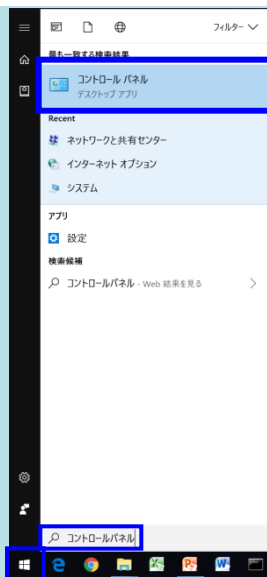
⑫このPCのIPアドレスを設定します。
「次のIPアドレスを使う」を選択してください。
ネットワークセグメント、サブネットマスクは「FalconWAVE AP-R」と同じ設定にしてください。
また、最後の1ブロックは1～254までの自由な数値を設定してください。
(ただし他の機器と重複しないこと)
(入力例:IPアドレス:192.168.1.123/サブネットマスク:255.255.255.0)

完了したら「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

以上でWindows7の設定は完了です。

STEP3 PCの設定(Windows10 1/6)

「FalconWAVE AP-R」と接続するPCは、IPアドレスとサブネットマスクが「FalconWAVE AP-R」と同じアドレスグループに設定されている必要があります。ここではWindows10についての設定手順をご説明します。(すでに設定済みの場合は「STEP:4 設置手順」へ)



①コントロールパネルを開きます。
「スタート」ボタンをクリックし、下部の検索窓に「コントロールパネル」と入力し、「最も一致する検索結果」から、「コントロールパネル」をクリックしてください。



②コントロールパネルにて、
「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。
※表示方法がアイコン表示となっている場合は、
カテゴリ表示に直してからクリックしてください。

次のページに進んでください。



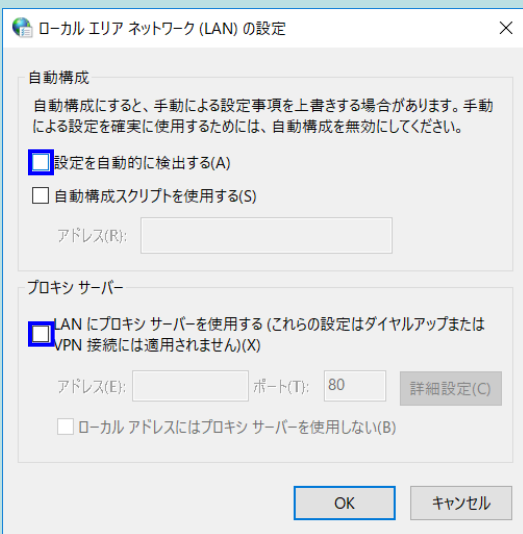
③インターネットのプロパティを開きます。
「インターネットオプション」をクリックしてください。



④「インターネットのプロパティ」のウィンドウが開かれるので
「接続」タブを選択し、「LANの設定(L)」をクリックしてください。

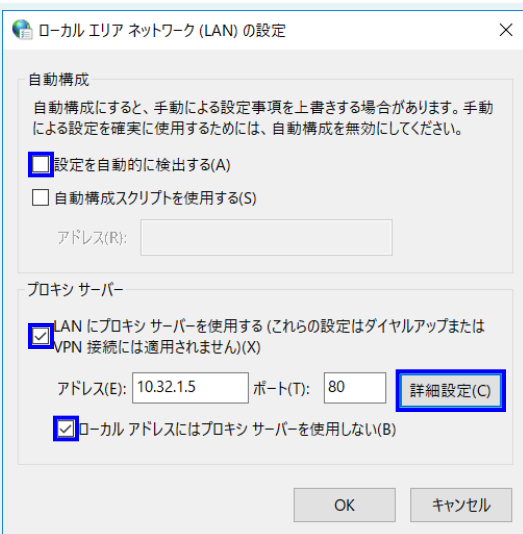
次のページに進んでください。

⑤「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」が開かれます。
プロキシサーバーの設定が必要ない場合(PCを測定専用を使用するなど)は⑥-1へ、
プロキシ設定を無効にすることができない場合(PCが既設のシステムに組み込まれているなど)は⑥-2へ進んでください。



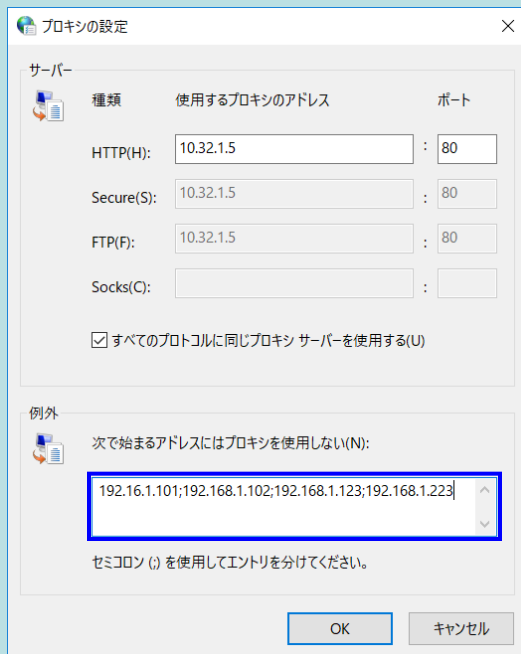
⑥-1 「設定を自動的に検出する」のチェックを外してください。
「LANにプロキシサーバーを使用する…」のチェックを外してください。
完了したら「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「インターネットのプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

次のページの[⑧]に進んでください。



⑥-2 「設定を自動的に検出する」のチェックを外してください。
「LANにプロキシサーバーを使用する…」にチェックをしてください。
「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」にチェックをしてください。
「詳細設定(C)」をクリックして次ページの[⑦]に進んでください。

※左画像のアドレスとポートの値は仮のものです。
設定する値ではありません。



⑦「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」欄にこのPCから接続する機器(「FalconWAVE AP-R」や対向側PC、ネットワークカメラ、ネットワークレコーダ等)のIPアドレスを登録してください。
その際、アドレスとアドレスの間を「;(セミコロン)」で区切ってください。
(例:192.16.8.1.101;192.16.8.1.102;192.16.8.1.123;192.16.8.1.223)

完了したら「OK」をクリックしウィンドウを閉じてください。
「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「インターネットのプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



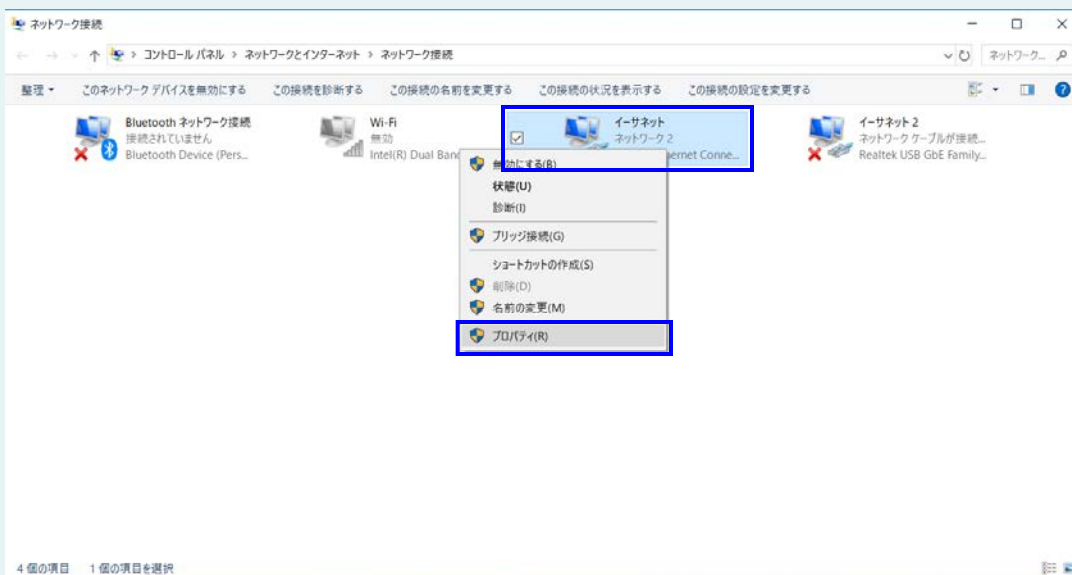
⑧ ①、②を参照して再びコントロールパネルからネットワークとインターネットを選択して、「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。

次のページに進んでください。

STEP3 PCの設定(Windows10 5/6)

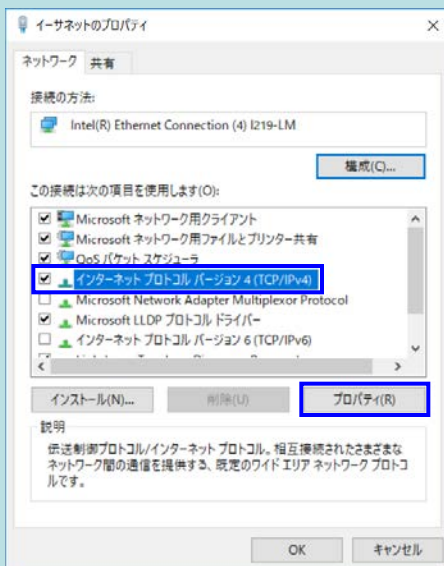


⑨「アダプターの設定の変更」をクリックしてください。

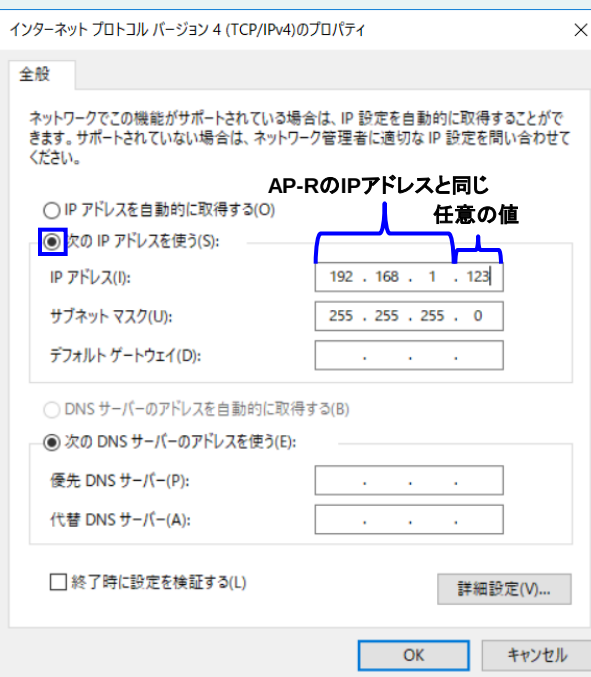


⑩「イーサネット」のプロパティを開きます。「イーサネット」を右クリックし、表れたメニューから「プロパティ(R)」を選択してください。

次のページに進んでください。



⑪「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



⑫このPCのIPアドレスを設定します。
「次のIPアドレスを使う」を選択してください。
ネットワークセグメント、サブネットマスクは「FalconWAVE AP-R」と同じ設定にしてください。
また、最後の1ブロックは1～254までの自由な数値を設定してください。
(ただし他の機器と重複しないこと)
(入力例:IPアドレス:192.168.1.123/サブネットマスク:255.255.255.0)

完了したら「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。
「イーサネットのプロパティ」に戻るので「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

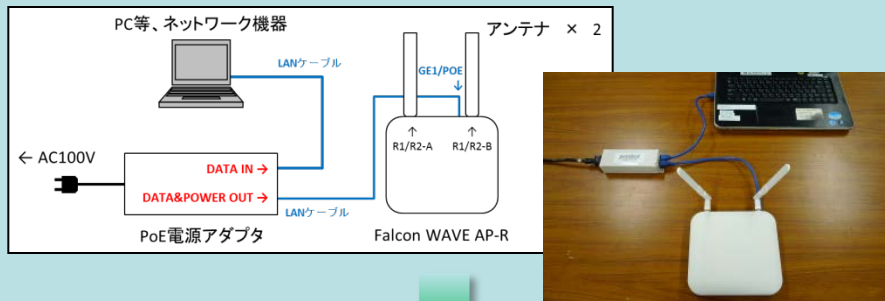
以上でWindows10の設定は完了です。

STEP4 設置手順

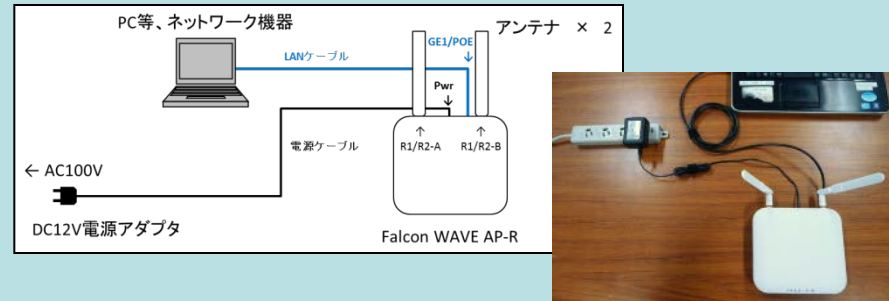
①下図の通り「FalconWAVE AP-R」を接続します。

「FalconWAVE AP-R」の電力供給方法として、PoE(Power over Ethernet)電源アダプタからネットワークケーブルで供給する方法と、DC12V電源アダプタより供給する方法の2つがあります。

PoE電源インジェクターより電力供給する方法



DC12V電源アダプタより電力供給する方法



②「FalconWAVE AP-R」に専用アンテナを接続します。



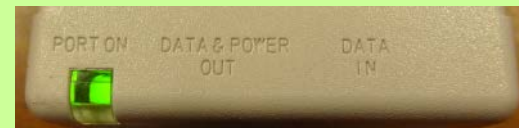
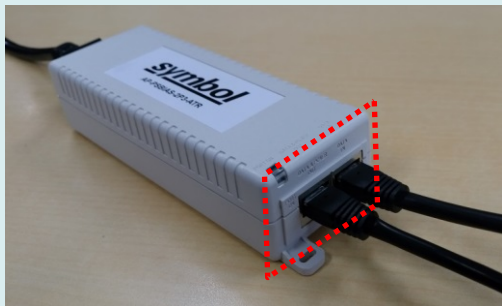
PoE電源アダプタ専用電源ケーブル

③「FalconWAVE AP-R専用PoE電源アダプタ」と「PoE電源アダプタ専用電源ケーブル」を接続し、「PoE電源アダプタ専用電源ケーブル」を電源コンセントに接続します。



「FalconWAVE AP-R専用PoE電源アダプタ」に電源を投入したときのLED表示(橙)

- ④ 「FalconWAVE AP-R専用PoE電源インジェクター」のRJ45ポートから、機器側のRJ45ポートを「LANケーブル」で接続します。



「FalconWAVE AP-R専用PoE電源アダプタ」から
「FalconWAVE AP-R」に電源供給されているとき
のLED表示(緑)

- ⑤ 「FalconWAVE AP-R」に接続する側の「LANケーブル」のRJ45コネクタを「FalconWAVE AP-R専用PoE電源インジェクター」の「DATA & POWER OUT」ポートに接続します。



「LANケーブル」の反対側のRJ45コネクタを「FalconWAVE AP-R」の「GE1/PoE」ポートに接続します。(→STEP:2 各部の名称と機能)

- ⑥ PC等の機器に接続する側の「LANケーブル」のRJ45コネクタを「FalconWAVE AP-R専用PoE電源インジェクター」の「DATA IN」ポートに接続します。

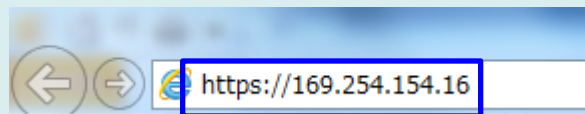


LANケーブルのRJ45コネクタ

「LANケーブル」の反対側のRJ45コネクタをPC等の機器のETHERNETポートに接続します。

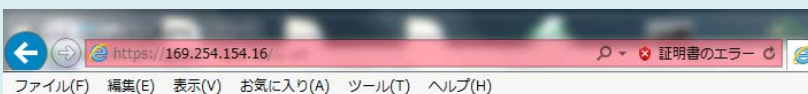
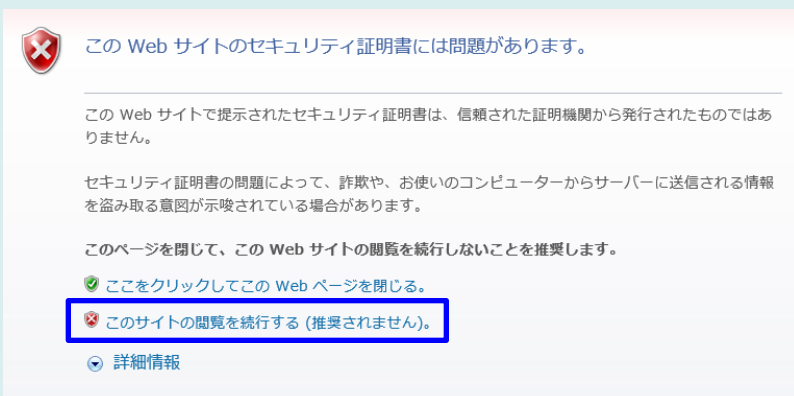
以上で機材の設置は完了です。

STEP5 ログイン手順



①PCのインターネットエクスプローラを起動し、アドレスバーに「FalconWAVE AP-R」のIPアドレスを入力します。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」
* Windows7は「Internet Explorer」→(右クリック)「管理者として実行(A)」
(設定例:https://169.254.154.16/)

以下のような画面が表示された場合は、
「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



アドレスバーが赤色表示になりますが、使用上の問題はあります。

「FalconWAVE AP-R」は電源投入から起動まで約2分かかります。

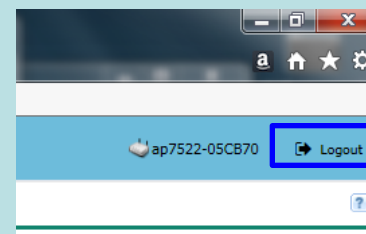


②「ユーザー名」と「パスワード」を入力するダイアログが表示されます。
出荷時の「ユーザー名」は「admin」で、「パスワード」は「superuser」に設定されています。

入力が完了したら「Login」をクリックします。



③ログインに成功すると「FalconWAVE AP-R」のトップメニューが表示されます。



※ログアウトしたいときは、画面右上の「Logout」をクリックします。

STEP5 パラメータ設定手順

「FalconWAVE AP-R」の無線装置構成パラメータの設定を行います。

チャンネルの変更



①Web UIの左側メニューから、[Access Points]を選択します。

②[AP Name]項目から[ap7522-*****] を選択します。
(*****は、機器個体毎に異なります)



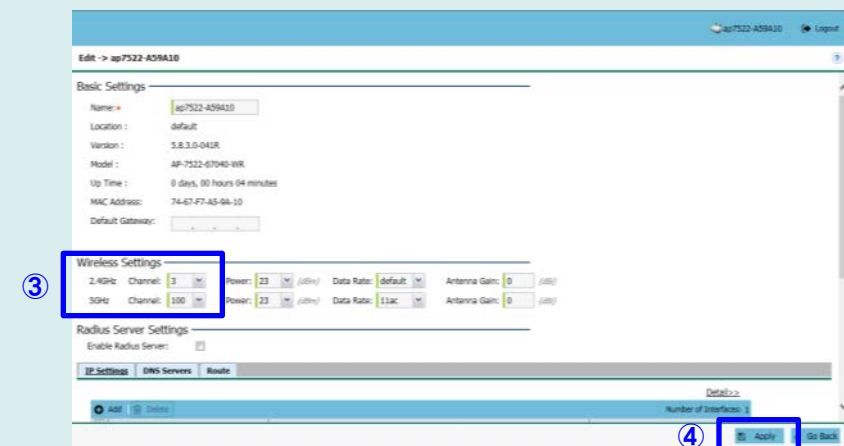
③[Wireless Settings]項目にある[2.4GHz]と[5GHz]のチャンネルを変更します。

変更可能なチャンネルは、以下の通りです。
チャンネル帯域は20MHz幅と40MHz幅、5GHz帯は最大80MHz幅まで選択可能です。

タイプ	チャンネル	周波数帯域	屋外利用
2.4GHz	1～13ch	2412～2472MHz	可
W52	36,40,44,48ch	5150～5250MHz	不可
W53	52,56,60,64ch	5250～5350MHz	不可
W56	100,104,108,112,116,120, 124,128,132,136,140ch	5470～5725MHz	可

5GHz帯を屋外で使用する場合は、必ず[W56]タイプの中からチャンネル選択してください。

④[Apply]をクリックして、変更した項目を反映します。

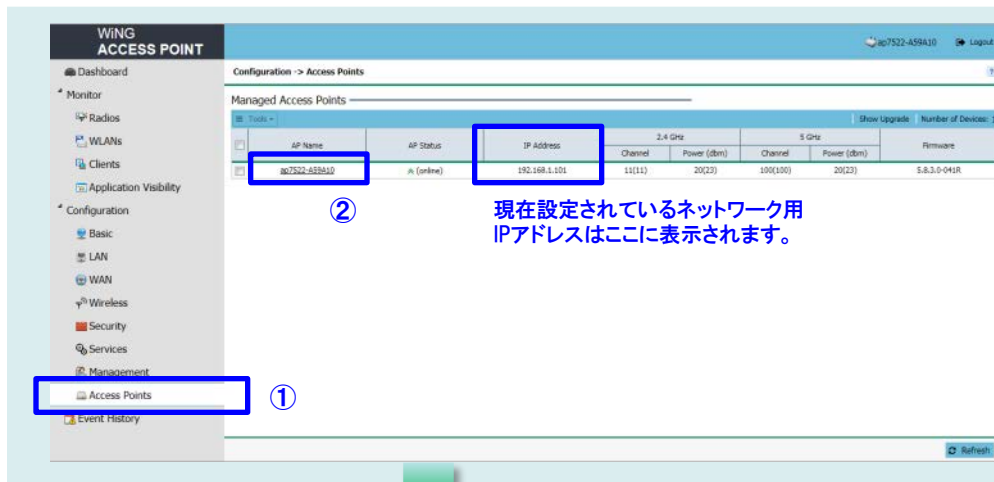


「Power」「Antenna Gain」は、技術基準(技適)で値が決まっていますので、変更しないでください。

STEP5 パラメータ設定手順

「FalconWAVE AP-R」の無線装置構成パラメータの設定を行います。

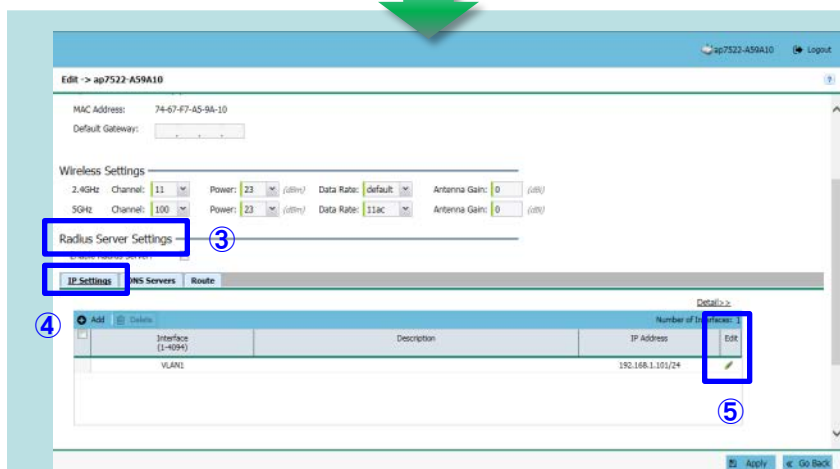
ネットワーク用IPアドレスの変更



現在設定されているネットワーク用IPアドレスはここに表示されます。

①Web UIの左側メニューから、[Access Points]を選択します。

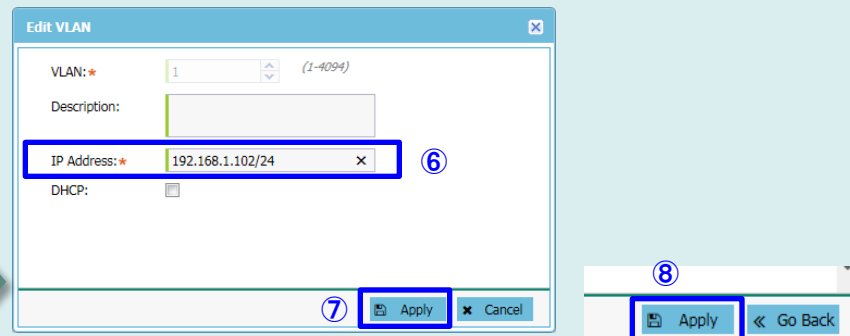
②[AP Name]項目から[ap7522-*****] を選択します。
(*****は、機器個体毎に異なります)



③ページ下部にカーソル移動すると、[Radius Server Settings]項目が表示されます。

④[IP Settings]タブを選択します。

⑤[Edit]の  アイコンをクリックします。



⑥[Edit VLAN]ウィンドウが表示されたら、[IP Address]欄に変更したいIPアドレスを入力します。
IPアドレス末尾の「/24」は、サブネットマスク(255.255.255.0)の短縮表記(CIDR表記)です。詳細は取扱説明書を参照ください。

⑦[Apply]をクリックして[Edit VLAN]ウィンドウを閉じます。

⑧画面右下の[Apply]をクリックして、変更した項目を反映します。

STEP5 パラメータ設定手順

「FalconWAVE AP-R」の無線装置構成パラメータの設定を行います。

SSID名の変更

① Web UIの左側メニューから、[Wireless]を選択します。

② [Wireless LAN]タブを選択します。

③ [Name]項目からSSID名を変更したい方を選択します。

現在設定されているSSID名はここに表示されます。

③ [Wireless LAN]タブを選択します。

④ [SSID]項目に、変更したいSSID名を入力します。
SSIDに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、下表の記号です。
最大半角32文字まで設定できます。

!	“	#	\$	%	&	‘	(
)	*	+	,	-	.	/	:
;	<	=	>	@	[	¥	]
^	_	`	{		}	~	

⑤ [Apply]をクリックして、変更した項目を反映します。

STEP5 パラメータ設定手順

「FalconWAVE AP-R」の無線装置構成パラメータの設定を行います。

セキュリティ種別とパスワードの変更

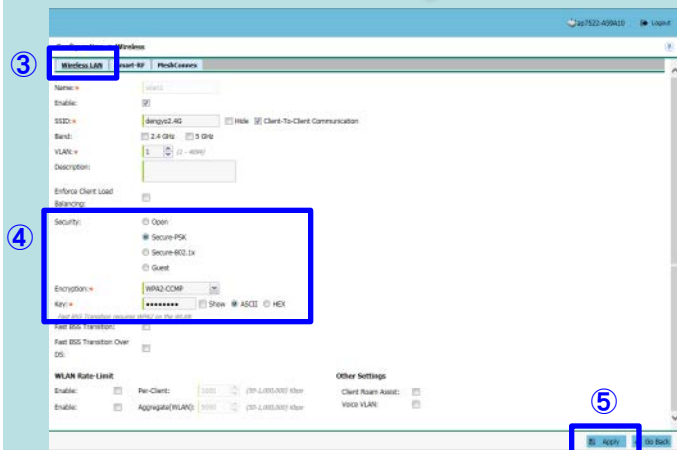


① Web UIの左側メニューから、[Wireless]を選択します。

② [Wireless LAN]タブを選択します。

③ [Name]項目からセキュリティ種別/パスワードを変更したい方を選択します。

現在設定されているセキュリティはここに表示されます。



[Security]

「Open」にチェックすると、Wi-Fi接続時にパスワードを要求されなくなります(非推奨)。通常は「Secure-PSK」を選択しておくことを推奨します。

[Encryption]

セキュリティ種別を選択します。通常は「WPA2-CCMP」を選択しておくことを推奨します。

[key]

セキュリティのパスコードを入力します。種別毎の入力形式、制限文字数は下表通りです。

暗号化方式	コード	制限	備考
WPA2-CCMP	ASCII(文字コード)	8～63文字	推奨
TKIP-CCMP	HEX(16進数)	64桁	
WEP-64	ASCII(文字コード)	5文字	脆弱性あり 非推奨
	HEX(16進数)	10桁	
WEP-128	ASCII(文字コード)	13文字	脆弱性あり 非推奨
	HEX(16進数)	26桁	

通常は「WPA2-CCMP」「ASCII」で英数字8文字以上に設定することを推奨します。セキュリティに関する詳細は、取扱説明書を参照ください。

③ [Wireless LAN]タブを選択します。

④ [Security][Encryption][key]項目をそれぞれ変更します。

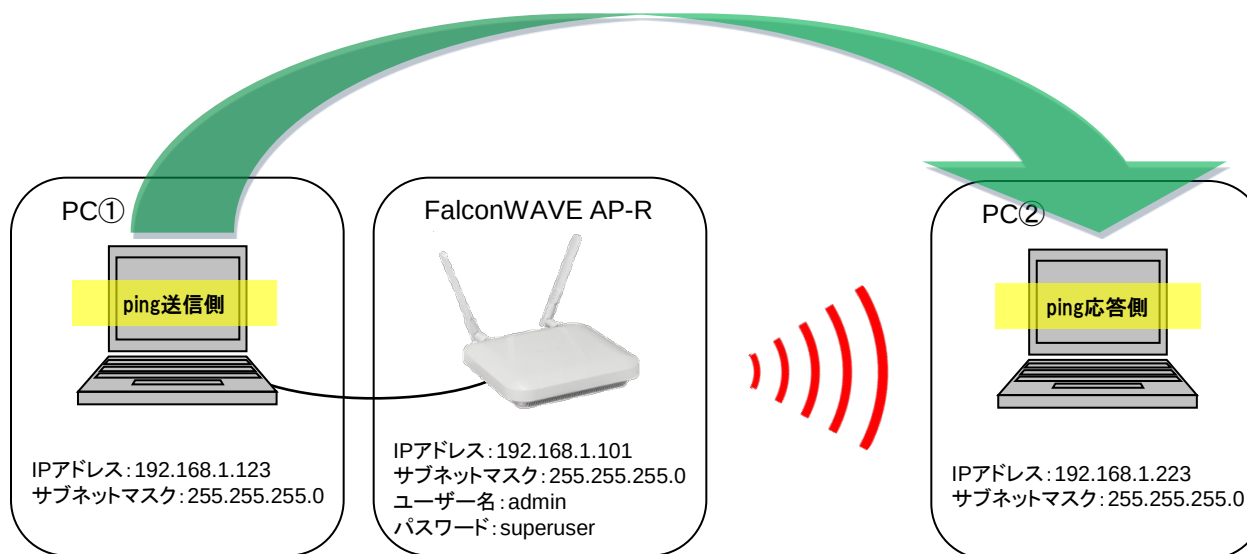
⑤ [Apply]をクリックして、変更した項目を反映します。

ping

Pingはネットワーク疎通を確認したいホストに対してIPパケットを発行し、そのパケットが正しく届いて返答が行われるのかを確認するためのコマンドでWindowsではコマンドプロンプトを開いて実行します。

Pingコマンドが正常に実効することが確認出来れば、通常の場合ホスト間のネットワークは正常であると判断することが出来ます。また、統計値は基本的なネットワーク性能の目安とすることが可能です。

Ping通信時にエラーが発生した場合には、何らかのネットワーク障害が発生していると考えられます。この場合Pingコマンドの返答内容から、ある程度のエラーの原因を把握する、もしくは推測することが出来るもののエラーの原因を特定することは難しく、他の方法を使用し、それぞれの機器ごとエラーの原因を突き止める必要があります。



機器設定例

ping送信手順

- ①Ping送信は「コマンドプロンプト」により行います。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」
* Windows7は「コマンドプロンプト」→(右クリック)「管理者として実行(A)」

```
管理者: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\ユーザー名>
```

- ②「コマンドプロンプト」を開くと次のように表示されます。

```
C:\Users\ユーザー名>ping 相手側PCのIPアドレス -t
```

- ③コマンド「ping (相手側PCのIPアドレス) -t」を入力し、連続測定します。

- ④連続測定が始まります。

```
相手側PCのIPアドレスに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128
からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128
からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128

相手側PCのIPアドレスの ping 統計:
    パケット数: 送信 = 6, 受信 = 6, 損失 = 0 (0% の損失),
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 1ms, 最大 = 2ms, 平均 = 1ms
```

送信成功(損失0%)

```
相手側PCのIPアドレスに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
からの応答: 宛先ホストに到達できません。
相手側PCのIPアドレスからの応答: 宛先ホストに到達できません。
```

送信失敗(宛先に到達できずタイムアウト)

うまくいかない場合は・・・

- ・「FalconWAVE AP-R」に電源が入っていない(→PWR LEDを確認してください)
- ・LANケーブルが接続されていない(→「PoEポートを確認してください」)
- ・アンテナが接続されていない(→アンテナポートを確認してください)
- ・pingコマンドを間違えている(→コマンドに相手のIPアドレスや「.(ドット)」、「 (半角スペース)」が正しく入っているか確認してください)
- ・相手の機器がWi-Fi接続していない(→相手の機器が「FalconWAVE AP-R」のSSIDに接続されているか確認してください)

- ⑤「Ctrl」+「C」で連続測定を停止します。

pingコマンドの書式は次の通りです。

「ping 192.168.1.223」のようにコマンドや設定値の間は半角スペースで区切ります。

「ping」の後には疎通を確認したい機器のIPアドレス若しくはホスト名を入力します。

pingコマンドは通常32Bytesのデータを4回連続して疎通を確認したい機器に送信し、返答が帰って来るまでの時間を測定します。

いくつかのオプションを持っており、確認したい内容に合わせてそれを使い分けます。

使用方法は例えば「ping 192.168.1.223 -t」(Ctrl+Cキーで停止するまで送信)の様な形で使用します。

pingコマンドのオプションには次のようなものがあります。(一例)

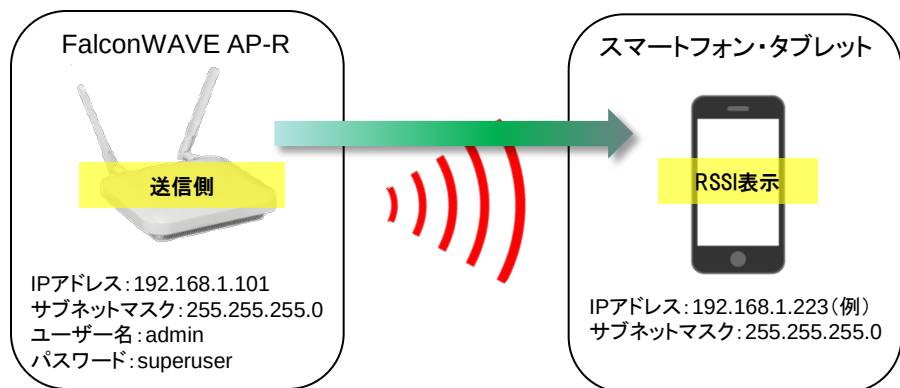
- t ユーザからの停止が要求されない限り、パケットの送受信を無限に繰り返します。また、「Ctrl」+「C」で停止します。
- n パケット送受信の回数(試行回数)を指定します。「ping 192.168.1.223 -n 500」のように設定します。

RSSI

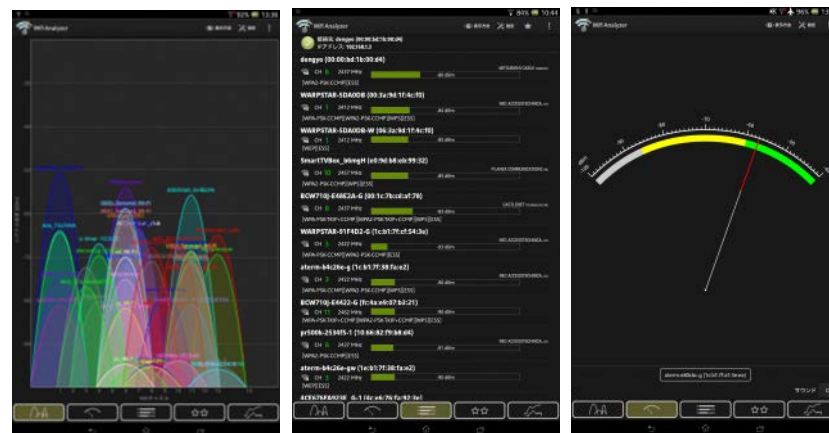
RSSIとは、主に無線LANやBluetoothなどの無線通信において、無線機が受信する信号の強度を測定するための信号を表します。

無線機間における、より高速で安定した通信を実現するためには、送信側と受信側のアンテナの方向をそれぞれの相手に正確に対向させる必要があります。この作業を容易に効率良く実施するためのスマートフォンアプリがごさいます。

RSSIの値を確認し、値が最大値になるように、アンテナの方向と角度を調整して下さい。



機器設定例



Wifi Analyzer
無料
Androidスマートフォン・タブレット対応

「FalconWAVE AP-R」をご使用になり、下記のような症状が認められた場合は故障と思われる前に以下のことをご確認ください。

LEDが点灯しない

(専用PoE電源アダプタより給電する場合)

- ・無線機にRJ45ケーブルがつながっているかご確認ください。
- ・専用PoE電源アダプタにRJ45ケーブルがつながっているかご確認ください。
- ・専用PoE電源アダプタに電源が給電されているかご確認ください。

(DC12Vアダプタより給電する場合)

- ・無線機にDC12Vアダプタのプラグがつながっているかご確認ください。
- ・AC100VコンセントにDC12Vアダプタがつながっているかご確認ください。

PCのWEBブラウザから「FalconWAVE AP-R」に接続できない

- ・「FalconWAVE AP-R」は電源投入から起動まで約2分かかります。
- ・PCと「FalconWAVE AP-R」の固定IPアドレス(169.254. xxx. xxx等)が共通であるかご確認ください。
- ・IPアドレスは半角数字で入力し、「.(ドット)」、が正しく入っているかご確認ください。
- ・PCのプロキシサーバを使用するIPアドレスの例外設定に「FalconWAVE AP-R」のIPアドレスが登録されているかご確認ください。(→STEP:3 PCの設定)

無線機とネットワーク機器とのリンクが確立しない

- ・アンテナポートにアンテナが接続されているかご確認下さい。
- ・ネットワーク機器側のSSID、セキュリティ方式の設定が正しいかをご確認下さい。
- ・同一ネットワーク上に同一のSSIDで設定された無線機が複数台存在しないかをご確認ください。

通信速度が遅い

- ・有線側機器を含めた通信速度は「FalconWAVE AP-R」の無線環境に依存します。
- ・無線機とネットワーク機器間に壁等の遮蔽物がないことをご確認ください。
- ・無線機と同じチャンネルを使用する機器がある場合は極端な速度の低下を招くおそれがあります。無線チャンネルを変更されることをおすすめします。

以上のことをご確認されても正常に動作しない場合は弊社までご連絡下さい。

〈TEL〉

049-288-2612

受付: 月～金曜日 9時～17時30分

* 祝祭日及び弊社既定の休業日を除く

〈FAX〉

049-288-2666

受付: 24時間

〈お問い合わせフォーム〉

<https://den-gyo.com/contact/>

受付: 24時間